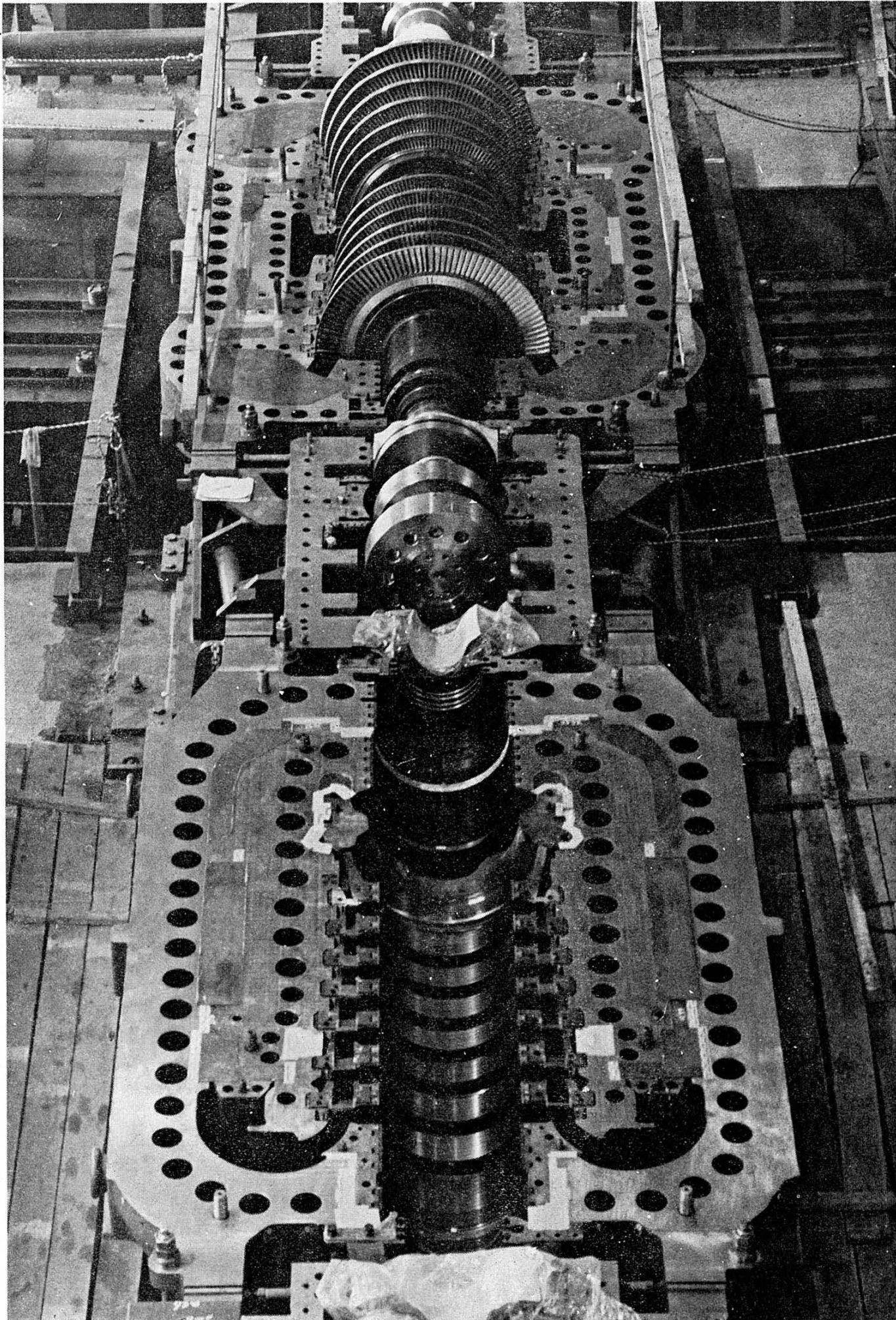


九州最大の電源地帯めざして



唐津 3 期 建設 工事 ボイラ 水圧 検査 終る

〔唐津〕完成後には、九州で最大の出力を誇る九州電力唐津発電所第3期（出力50万KW）は来年7月1日の運開を目標に、現在着々と建設工事が進められている。

当社は同建設工事のうち、ボイラ関係を三菱重工業長崎造船所から受注、またタービン発電機関係を東芝電気工事から受注、唐津建設所（桃島所長）が工事を担当し、すでに工事は最盛期を迎えている。

ボイラ関係は、昨年11月唐津建設所を開設して以来、12月16日のセパレート揚げと同時に本工事に着手、すでに予備水圧では1つの不良箇所もなく検査を終え、さる6月19日20日の2日間にわたって、通産省検査官立会いで水圧検査が行なわれている。現在、ケーシングの取付け中で、また、煙風道、雑配管などの据付けも行なわれている。

一方、タービン発電機関係では、今年2月着工以来、急ピッチに工事が進められ、現在、8月10日の中間検査にそなえて、本体の上半を開放中で、復水器にチューブのそう入拡管などを行なっている。

今後の工程は、8月8日には受電12月1日には火入れ、48年1月20日には通気が、そして営業運転開始は48年7月1日に予定されている。

同機の完成後には第1号機（15万6,000KW）、第2号機（37万5,000KW）と合わせて、唐津発電所の総出力は103万1,000KWとなり、九州では初めての100万キロを超える大電力供給地帯となる。

なお、EP（電気集塵装置）の据付けが、第2号機、第3期でそれぞれ行なわれ、2号機については、定修期間を利用してすでに工事が完了、3期では9月末に完成する予定である。

唐津第3期主要設備

〔汽缶〕	
型 式	放射再熱分割炉型（屋外型）
蒸気圧力	255Kg/cm ² g（過熱器出口）
蒸気温度	543°C（過熱器出口） 541°C（再熱器出口）
蒸 発 量	1,710T/H
使用燃料	重油および原油
製 作 者	三菱重工業株式会社長崎造船所
〔汽機〕	
型 式	串型4ケーシング4流排気式再熱再生式
出 力	500,000KW（定格出力）
蒸気圧力	246Kg/cm ² g（主塞止弁前）
蒸気温度	538°C（主塞止弁前） 538°C（再熱塞止弁前）
内部効率	84.6%（再熱前） 91.07%（再熱後）
製 作 者	東京芝浦電気株式会社

〔写真〕 建設が進む唐津第3期タービン発電機（出力50万キロワット）